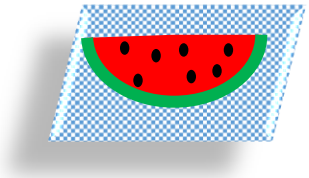
古都和楽会だより　第七号

会員の皆様　お変わりありませんか？

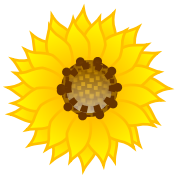


わが国は、人口減少と少子高齢化が進行し、社会経済構造や人々の暮らしも変化する中、子ども・高齢者・障害者などすべての人々が地域・暮らし・生きがいを共に創り、高め合うことが出来る「地域共生社会」の実現を目指した取り組みを進めています。さて、現代は高齢化社会の著しい進展に伴い、我々高齢者を取り巻く社会環境は大きな変化を見せ、隅々まで行き渡る新しい福祉の対応が求められます。国や市町村が福祉の施策を講じるのは当然のことですが、行政が全てを網羅できるものではなく、高齢者同士がお互い手を携えて支えあっていかなければなりません。私達自身が健康管理を十分に行い、住み慣れた地域で心身共に充実した生活をして行くためには、我々老人クラブがそれぞれの地域での核となり、気安く声が掛け合える人間関係の構築が急務だと思います。老人クラブの活動の一番の目的は、信頼に足る友をつくることではないかと思います。一人でも多くの人に声掛けし、新たな友をつくり、長寿社会を生き抜こうではありませんか。

新型コロナウイルスオミクロン株ＢＡ５への置き換わり感染症等々の終息を願いご挨拶とします。

古都和楽会　会長

趣味を楽しむ



寄る年波に足腰の弱さは否めない。九十歳半ばともなると尚更だが、そこは、明るく前向きな気持ちで体力低下を補いながら過ごしている。そんな私は、二つの趣味を楽しんでいる。

書道と家庭菜園である。書道の方は、カルチャー教室に通い先生に指導を受けている。展示会への出品作品として、「道」というひと文字を書くことになったが、これがなかなか手ごわい。毎日毎日、何度も何度も書き直す。

そんな時間を繰り返していると、書道の奥深さだろうか「道」という文字が人生観を彷彿させる。「道」を極めることは無理かも知れないが、「道」を書くことはできるなと苦笑した。

家庭菜園の方は、野菜作りに詳しい知人が先生である。約十坪の畑で春夏秋冬の野菜を育てているが、一朝一夕とはいかない。ただ、手間が掛かった分だけ収穫時の楽しさは格別である。コロナ禍で生活環境は一変したが、ささやかな野菜作りの環境は憩いの場だった。春夏秋冬の風に吹かれながら、この家庭菜園をこれからも楽しみたいと思っている。

和楽会の皆さん、趣味は「静と動」で如何でしょうか。どうぞ、健やかで楽しい日々を送ってください。

古都和楽会　顧問